

シテ其ノ業務ヲ爲シタルモノ

第四十二條 法人又ハ人ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第三十七條、第三十九條、第四十條又ハ前條第一號、第三號、第四號、第六號乃至第八號、第十號、第十三號若ハ第十四號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルルコトヲ得ズ

第四十三條 第三十七條、第三十九條、第四十條並ニ第四十一條第一號、第三號、第四號、第六號乃至第八號、第十號、第十三號及第十四號ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ其ノ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十四條 前二條ノ場合ニ於テハ懲役ノ刑ニ處スルコトヲ得ズ

附則 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條 藥品營業並藥品取扱規則、賣藥法及藥劑師法ハ之ヲ廢止ス但シ藥劑師法中道府縣藥劑師會及日本藥劑師會ニ關スル規定ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勅令ヲ以テ定ムル時迄仍其ノ效力ヲ有ス

第四十七條 醫師、齒科醫師又ハ獸醫師ハ其ノ診療ニ用フベキ醫藥品ニ限リ命令ノ定ムル所ニ依リ第十五條ノ規定ニ拘ラズ調劑ヲ爲スコトヲ得

地方長官必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ病院若ハ診療所ノ開設者又ハ開業ノ獸醫師ニ付

醫藥品ノ使用ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ醫藥品ヲ貯藏スル場所ニ臨檢シ醫藥品ヲ檢査セシメ若ハ試驗ノ爲必要ナル分量ノ醫藥品ヲ無償ニテ收去セシムルコトヲ得

第四十八條 藥劑師法ニ依リ藥劑師免許ヲ受ケタル者ハ本法ニ依リ藥劑師免許ヲ受ケタルモノト看做ス

第四十九條 本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ、同法ノ禁錮ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタルモノト看做ス

第五十條 藥劑師法ニ依ル藥劑師名簿ノ登錄ハ之ヲ本法ニ依ル藥劑師名簿ノ登錄ト看做ス

第五十一條 藥劑師法ニ依リ爲シタル藥劑師免許ノ取消ノ處分又ハ業務ノ停止ノ處分ハ之ヲ本法ノ相當規定ニ依リテ爲シタルモノト看做ス此ノ場合ニ於テ停止ノ時期ハ仍從前ノ例ニ依ル

第五十二條 藥劑師法ノ道府縣藥劑師會及日本藥劑師會ノ權利義務ニシテ第四十六條但書ノ規定ニ依リ勅令ヲ以テ定ムル時ニ於テ存スルモノハ各本法ノ道府縣藥劑師會及日本藥劑師會之ヲ承繼ス

第五十三條 舊法ニ依リ開設シタル藥局ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ第十四條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第五十四條 前條ノ規定ハ從前ノ規定ニ依リ醫藥品ノ製造業、輸入販賣業、移入販賣業又ハ販賣業ヲ行フ者ニシテ本法施行ノ際現ニ當該事業ヲ行フ者ニ之ヲ準用ス

從前ノ規定ニ依リ前項ノ者ニ付爲シタル業務停止ノ處分ハ之ヲ本法ノ相當規定ニ依リ爲シタルモノト看

做ス此ノ場合ニ於テ停止ノ期間ハ仍從前ノ例ニ依ル

第五十五條 本法施行ノ際現ニ存スル醫藥品ノ容器又ハ被包ニ記載スベキ事項ニ付テハ第二十七條第一項ノ規定ニ拘ラズ本法施行ノ日ヨリ二年ヲ限り仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第五十六條 藥品營業並藥品取扱規則、賣藥法若ハ藥劑師法若ハ之ニ基キテ發スル命令又ハ花柳病豫防法

第七條第一項ノ規定ニ違反シタル者ノ處罰ニ付テハ仍舊法ニ依ル

第五十七條 花柳病豫防法中左ノ通改正ス

第七條、第八條及附則第二項ヲ削ル

第五十八條 阿片法中左ノ通改正ス

第五條中「藥劑師藥種商」ヲ「醫藥品販賣業者」ニ改ム

第六條第一項及第六條ノ二中「製藥者」ヲ「醫藥品製造業者」ニ改ム

第五十九條 昭和十五年法律第九十二號中左ノ通改正ス

第四條中「藥劑師法」ヲ「藥事法」及「改メ」及「藥品營業並藥品取扱規則」ヲ削ル

關東州國民體力令の公布

關東州國民體力令は昭和十八年三月八日付官報を以て左の如く公布せられた。

關東州國民體力令 (昭和十八年三月六日 勅令第四百十二號)

第一條 關東州ニ於ケル國民體力ノ管理ニ關シテハ本

令ニ定ムルモノヲ除クノ外國民體力法ニ依ル但シ同
法第二十一條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

國民體力法中主務大臣トアルハ滿洲國駐劄特命全權
大使トシ地方長官トアルハ關東州廳長官トシ市町村
長トアルハ市長又ハ民政署長トシ市町村内トアルハ
市又ハ民政署ノ管轄區域内トシ道府縣トアリ又ハ道
府縣、市町村トアルハ市トシ監獄、矯正院、少年教
護院トアルハ關東監獄トシ保健所トアルハ關東醫院又
ハ關東保健館トシ本法トアルハ本令トシ本法施行地
内トアルハ關東州内トシ勅令トアルハ關東局令トス

第二條 國民體力管理醫ノ選任又ハ解任ハ關東州廳長
官之ヲ行フ但シ特別ノ事情ニ依リ必要アルトキハ大
使ノ定ムル所ニ依リ學校長又ハ國ノ事業場若ハ施設
ノ長ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第三條 體力検査ニ要スル費用ニシテ左ニ掲グルモノ
ハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ國庫之ヲ負擔ス

- 一 國民體力管理醫手當
- 二 體力検査補助者手當
- 三 藥品其ノ他消耗品ノ費用

附則
本令施行ノ期日ハ大使之ヲ定ム

國民體力法施行規則中改正の件公布

國民體力法施行規則中改正の件は昭和十八年三月二
十五日付官報を以て左の如く公布せられた。

國民體力法施行規則中改正ノ件

(昭和十八年三月二十五日
厚生省令第七號)

様式第一號體力検査票裏面國民體力管理醫意見欄中

「國民體力向上修練會參加ノ要・否體力向上施設ノ利
用」ヲ「健民修練否要」ニ改ム

附則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法施行令中改正の件公布

船員保險法施行令中改正の件は昭和十八年三月三十
日付官報を以て左の如く公布せられた。

船員保險法施行令中改正ノ件

(昭和十八年三月二十九日
勅令第二百三十五號)

第七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手数料ヲ
完納シタルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ計算シタル金
額ガ十錢未満ナルトキハ延滞金ヲ徵收セズ

第十六條第三號中「嫡出子、庶子及私生子ノ間ニ在リテ
ハ嫡出子及庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ」ヲ「嫡出子
及嫡出ニ非ザル子ノ間ニ在リテハ女ト雖モ嫡出子及庶
子」ニ改ム

第十七條ノ二 船員保險法第二十二條ノ二第一項ノ規
定ニ依ル區域ハ瀬戸内(和歌山縣海草郡田倉崎ヨリ

兵庫縣津名郡生石鼻ニ至ル線、兵庫縣三原郡門崎ヨ
リ徳島縣板野郡孫崎ニ至ル線、愛媛縣西宇和郡佐田
岬ヨリ大分縣北海部郡關崎ニ至ル線及福岡縣企救郡
門司崎ヨリ山口縣豐浦郡甲山ニ至ル線ヲ以テ區劃シ
タル海面)ヲ除ク太平洋及印度洋トス

第十八條乃至第二十條 削除

第二十一條 船員保險法第二十八條ノ二ノ期間ハ被保
險者タル資格ヲ喪失シタル日後十日トス

第二十一條ノ二 地方長官ハ道府縣醫師會長、道府縣
齒科醫師會長又ハ道府縣藥劑師會長ノ意見ヲ聽キ保
險醫又ハ保險藥劑師ヲ指定スベシ

保險醫又ハ保險藥劑師ガ療養ノ給付ヲ擔當スルノ責
務ヲ怠リ其ノ他保險醫又ハ保險藥劑師トシテ不適當
ト認ムベキ事由アルトキハ地方長官ハ前項ノ指定ヲ
取消スコトヲ得

第二十一條ノ三 保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用
スル者ガ療養ノ給付ニ關シ請求スベキ費用ノ額ハ厚
生大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官之ヲ算定ス

日本醫師會長、日本齒科醫師會長又ハ日本藥劑師會
長ノ意見ヲ聽クベシ

第二十二條中「第二十八條第二項」ヲ「第二十八條第三
項」ニ改ム

第二十三條第二號中「其ノ指定セザル」及同條第三號中
「地方長官ノ指定セザル」ヲ「保險醫及厚生大臣若ハ地
方長官ノ指定スル者以外ノ」ニ改メ同條ニ左ノ一號ヲ
加フ

四 其ノ他厚生大臣ノ定ムル場合ニ於テ被保險者又
ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ

第二十六條中「船員保險法第二十八條第三號ノ規定ニ
依リ」ヲ「病院又ハ」ニ改ム

第二十六條ノ二 厚生大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ
船員保險法第三十二條第一項ノ期間ヲ超エ尚六月間